

令和6年 2月22日

足立区立長門小学校
校長 細山 貴信 様

足立区立長門小学校 開かれた学校づくり協議会

令和5年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

学習面での児童のつまずきに早い段階で気づき、個に応じた指導を行い、とりこぼすことなく指導していただいているので、安心して学校に行かせている。

児童の学力向上について、AIドリル等を活用して「自ら学習する習慣」を定着させるために、家庭学習にも学校として働き掛けてくれていることはとてもよいことであると感じている。しかし、ICT機器の導入については、デメリットも考慮して取り組んでいく必要があると考えている家庭もあることを念頭において欲しい。

今は、生活習慣等の指導も、各家庭で差があるが、先生方が粘り強く指導をしていただいていることがありがたい。子どもたちは、思うようにいかずに、悩むこともあるようですが学校でよく見てくださっているので、助かっている。今の子どもたちは、線が細いと感じることもあるので、頭でっかちにならないように、今後も指導を継続して欲しい。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

「あいさつの励行」については、一部児童にやや不十分な所もあるように感じるが、全体的にはよい状況であると捉えている。

保護者も今は共働きが多いと思うが、家庭での指導が大切である。これからも、学校と地域が一体となって子どもたちの育ちを見守ってあげればよい。先生方が、子どもたちのために尽力してくれていることを、地域の方々の一部は当たり前だと思っているような気がする。教員の負担を減らすことも地域が理解していくことが大切。先生方の身体と心のバランスがとれるように願っている。

3 その他

長門小は、毎日欠かさず学校の手入れをしていただいている。落ち葉が舞う季節は、学校の周囲の道路まで綺麗にしてくれている。元気に挨拶してくれるところも、他校にはない魅力であると感じている。

他校に比べて、子どもたちが生き生きと育っているように思っているが、進級していった時に環境の違いに対応できるように願っている。